



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	220,731	△8.9	7,832	△22.3	8,268	△24.8	4,711	△29.6
2020年3月期第2四半期	242,232	19.8	10,081	60.9	10,999	66.6	6,693	67.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,352百万円(△10.6%) 2020年3月期第2四半期 7,106百万円(40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	99.64	90.37
2020年3月期第2四半期	140.54	127.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	300,421	107,026	34.5
2020年3月期	308,873	104,681	33.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 103,515百万円 2020年3月期 101,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	77.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	3.2	21,000	11.7	21,000	5.4	12,100	2.5	256.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	50,834,700株	2020年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,659,527株	2020年3月期	3,420,627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	47,286,744株	2020年3月期2Q	47,630,121株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経済・社会活動が大幅に制限され、個人消費や企業収益が減少したことで景況感は急速に悪化しました。また、感染の再拡大の恐れもあることから引き続き先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界は、特に期初において同感染症拡大の影響から医療機関への受診抑制や手術件数減少等により外来・入院収益の大幅な減収を余儀なくされ、その後も、感染予防対策の徹底や関連対策のための設備投資が求められる等、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、ライフケア事業が高い入居率を維持し引き続き順調に推移するとともに、調剤薬局事業についても堅調に推移いたしました。また感染症対策の必要性から、当社プライベートブランドである国産サージカルマスク「SHIPマスク」及び低濃度オゾン発生装置「エアネス」シリーズの引き合いが多くある等、新たな販路の拡大が進みました。一方で、トータルパックプロデュース事業においては、例年通りプロジェクト案件が下期偏重の傾向で推移するとともに、メディカルサブライ事業においては、当第2四半期でも同感染症の影響は残りながらも業績は比較的堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は220,731百万円（前年同四半期連結累計期間比8.9%減）、営業利益は7,832百万円（前年同四半期連結累計期間比22.3%減）、経常利益は8,268百万円（前年同四半期連結累計期間比24.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,711百万円（前年同四半期連結累計期間比29.6%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、前第2四半期では例年になく大型プロジェクト案件の計上が上半期に集中し、一部メーカー系における消費税増税前の駆け込み需要等により好業績でありました。一方、当第2四半期におきましては、新規連結したミャンマーの医療機器販売子会社の業績が寄与したものの、例年通りプロジェクト案件が下期偏重の傾向で推移いたしました。

この結果、売上高は36,765百万円（前年同四半期連結累計期間比31.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2,878百万円（前年同四半期連結累計期間比46.8%減）となりました。

②メディカルサブライ事業

メディカルサブライ事業におきましては、グループ内の連携及び経営効率化により、償還価格改定の影響を受けながらも業績は堅調に推移した一方、期初の新型コロナウイルス感染症拡大による受診抑制や手術件数の減少等がもたらした診療材料需要の一時的減少の影響が残る結果となりました。

この結果、売上高は154,636百万円（前年同四半期連結累計期間比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2,308百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%減）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国一体経営による経営効率化が進むとともに、高い入居率を維持することができ、順調に推移いたしました。

この結果、売上高は12,262百万円（前年同四半期連結累計期間比3.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,139百万円（前年同四半期連結累計期間比27.6%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、当第2四半期は期初と比較して医療機関受診抑制が和らいだことに加え、感染症対策商品の販売強化、経営効率化等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は13,205百万円（前年同四半期連結累計期間比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は1,299百万円（前年同四半期連結累計期間比1.5%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、建物総合管理会社の業績が新たに寄与し、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,861百万円（前年同四半期連結累計期間比52.8%増）、セグメント利益（営業利益）は305百万円（前年同四半期連結累計期間比57.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は300,421百万円となり、前連結会計年度末と比べて8,451百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券が11,351百万円、商品及び製品が3,198百万円増加した一方、現金及び預金が18,705百万円、受取手形及び売掛金が9,253百万円減少したこと等によるものであります。

負債は193,395百万円となり、前連結会計年度末と比べて10,796百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が3,888百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が12,138百万円、未払法人税等が1,160百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は107,026百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,344百万円増加いたしました。その主な要因は、配当の支払いにより利益剰余金が3,556百万円減少し、自己株式を1,078百万円取得した一方、その他有価証券評価差額金が1,775百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が4,711百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.5%（前連結会計年度末比1.5ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1,835百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比14,895百万円収入減）となりました。これは主に、仕入債務が16,300百万円減少し、法人税等を4,489百万円支払った一方、売上債権が15,541百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を8,098百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは16,154百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比13,191百万円支出増）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出が9,793百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が4,069百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,508百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比827百万円支出減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,586百万円あり、短期借入金が1,062百万円増加した一方、配当金の支払額が3,556百万円、長期借入金の返済による支出が2,330百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて18,733百万円減少し、64,076百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2020年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,717	60,012
受取手形及び売掛金	95,623	86,369
電子記録債権	3,611	3,504
リース投資資産	3,500	3,433
有価証券	5,101	5,087
商品及び製品	14,029	17,227
仕掛品	1,511	2,094
原材料及び貯蔵品	845	957
その他	7,629	9,614
貸倒引当金	△71	△114
流動資産合計	210,499	188,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,534	18,233
土地	16,100	16,048
賃貸不動産（純額）	11,213	11,096
その他（純額）	11,166	11,494
有形固定資産合計	57,014	56,873
無形固定資産		
のれん	8,548	10,600
その他	972	987
無形固定資産合計	9,520	11,587
投資その他の資産		
投資有価証券	14,535	25,887
長期貸付金	7,810	7,667
その他	11,209	11,935
貸倒引当金	△1,716	△1,717
投資その他の資産合計	31,838	43,772
固定資産合計	98,373	112,233
資産合計	308,873	300,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	90,121	77,983
電子記録債務	19,598	17,769
短期借入金	935	4,823
未払法人税等	4,400	3,240
賞与引当金	2,194	2,174
その他	15,864	16,352
流動負債合計	133,115	122,343
固定負債		
新株予約権付社債	25,091	25,079
長期借入金	36,987	36,407
退職給付に係る負債	2,873	2,900
資産除去債務	838	844
その他	5,284	5,819
固定負債合計	71,076	71,052
負債合計	204,191	193,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,895	23,887
利益剰余金	74,841	75,996
自己株式	△14,447	△15,526
株主資本合計	99,841	99,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,019	3,795
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△152	△262
退職給付に係る調整累計額	75	72
その他の包括利益累計額合計	1,942	3,604
非支配株主持分	2,897	3,510
純資産合計	104,681	107,026
負債純資産合計	308,873	300,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	242,232	220,731
売上原価	217,564	197,475
売上総利益	24,667	23,256
販売費及び一般管理費	14,586	15,423
営業利益	10,081	7,832
営業外収益		
受取利息	203	163
受取配当金	193	189
負ののれん償却額	116	—
持分法による投資利益	22	—
為替差益	6	208
貸倒引当金戻入額	360	64
その他	166	277
営業外収益合計	1,068	902
営業外費用		
支払利息	126	175
持分法による投資損失	—	7
支払手数料	3	201
その他	21	81
営業外費用合計	151	466
経常利益	10,999	8,268
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
段階取得に係る差損	—	92
固定資産売却損	2	—
減損損失	—	61
固定資産除却損	0	19
投資有価証券評価損	0	—
その他	—	0
特別損失合計	3	175
税金等調整前四半期純利益	10,997	8,098
法人税、住民税及び事業税	3,945	3,118
法人税等調整額	317	224
法人税等合計	4,262	3,342
四半期純利益	6,734	4,755
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,693	4,711

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	6,734	4,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	492	1,775
為替換算調整勘定	△125	△174
退職給付に係る調整額	4	0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△4
その他の包括利益合計	371	1,597
四半期包括利益	7,106	6,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,115	6,373
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,997	8,098
減価償却費	1,505	1,494
減損損失	—	61
のれん償却額	843	1,012
負ののれん償却額	△116	—
持分法による投資損益 (△は益)	△22	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△533	△63
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	40
受取利息及び受取配当金	△397	△352
支払利息	126	175
売上債権の増減額 (△は増加)	4,434	15,541
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20	△3,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,165	△16,300
リース投資資産の増減額 (△は増加)	209	67
その他	647	△420
小計	20,818	6,089
利息及び配当金の受取額	401	410
利息の支払額	△126	△175
法人税等の支払額	△4,362	△4,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,730	1,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△121	△121
定期預金の払戻による収入	111	107
有形固定資産の取得による支出	△2,309	△1,858
有形固定資産の売却による収入	156	37
無形固定資産の取得による支出	△198	△135
短期貸付けによる支出	△505	△249
長期貸付金の回収による収入	1,629	140
投資有価証券の取得による支出	△1,087	△207
関係会社株式の取得による支出	—	△9,793
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	117	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△750	△4,069
その他	△4	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,962	△16,154

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△270	1,062
長期借入れによる収入	800	1,586
長期借入金の返済による支出	△3,058	△2,330
自己株式の取得による支出	△0	△1,078
配当金の支払額	△3,334	△3,556
非支配株主への配当金の支払額	△90	△69
非支配株主からの払込みによる収入	731	—
リース債務の返済による支出	△113	△122
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,335	△4,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,399	△18,733
現金及び現金同等物の期首残高	71,494	82,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,894	64,076

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	53,857	160,607	11,860	13,380	239,705	2,526	242,232	—	242,232
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,180	559	109	1,149	2,999	158	3,157	△3,157	—
計	55,038	161,166	11,970	14,529	242,704	2,685	245,390	△3,157	242,232
セグメント利益	5,406	2,455	892	1,280	10,035	194	10,229	△147	10,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△147百万円には、セグメント間取引消去△41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	36,765	154,636	12,262	13,205	216,870	3,861	220,731	—	220,731
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,046	968	113	12,837	14,965	221	15,186	△15,186	—
計	37,812	155,604	12,375	26,042	231,835	4,082	235,918	△15,186	220,731
セグメント利益	2,878	2,308	1,139	1,299	7,627	305	7,933	△100	7,832

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業、建物総合管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△100百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、(株)エス・ティー・ケー株式を取得し、連結の範囲に加えており、(株)チャーム・ケア・コーポレーションの持分を取得し、持分法の適用の範囲に加えております。

当該事象により「ライフケア事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が9,859百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、Okkar Thiri Co., Ltd. 及びSnow Everest Co., Ltd. 株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルパックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、3,013百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。